

令和元年度

「とほるが岡の碑」 除幕式!!

Copyright©2019shiogama high school 総務部

11月28日(木)、塩釜高校西キャンパスにおいて「とほるが岡の碑」除幕式を開催しました。

碑は、利府町の僧侶<真壁道鑑>さん(87)が建立し、本校同窓会に寄贈したものです。真壁さんは旧塩釜高校4回生。塩竈市の歴史遺産・観光資源になればと考え、また、本校付近に残る「融が岡の地名を後世に伝えたい」との思いから建立に至りました。

除幕式には、同窓会並びにPTA関係者、代表生徒や本校職員など約40人が参列しました。同窓会長の菊地忠夫さんは、碑の建立をきっかけに融が岡のことが後世に伝わることの大切さについて述べられました。生徒会長の赤間さんは、「由緒ある融が岡で高校生活が送れることについて誇りに思う」旨の挨拶を述べました。



<発起人で寄贈者の真壁道鑑さんと代表生徒>

「源融（みなもとのとおる）」（822～895年）

嵯峨天皇の皇子。陸奥出羽按察使としてこの地を訪れ千賀の浦を一望したという言い伝えがある。また、この地を模した庭園を京都の六条河原院に造園したといわれている。遙任（ようにん）地は多賀城で光源氏のモデルとされている。



竹内透校長の挨拶



除幕の様子



同窓会長の菊地忠夫さんの挨拶



ご来賓の皆様



挨拶する真壁さん



生徒会長挨拶